

「結腸癌に対する体腔内吻合の治療成績についての後ろ向き観察研究」

ご協力をお願い

結腸癌に対する体腔内吻合は近年増加しており、ロボット手術の普及とともにさらに増加していくと考えられます。一方で結腸再建は overlap やデルタ吻合など施設や腫瘍部位によってさまざまです。当院での結腸癌に対する体腔内吻合の短期治療成績を比較検討します。

2. 実施施設および担当医師

京都第一赤十字病院消化器外科	曾我 耕次(責任研究医師)
京都第一赤十字病院消化器外科	塩飽 保博(分担研究医師)

3. 研究の方法

2021年1月1日から2022年8月31日までに施行した待機的大腸癌手術212例中、DST 吻合を除く腹腔鏡下結腸切除術を行った94例を対象とし、体腔内吻合28例と体腔外吻合65例を対象に臨床病理学的因子について検討します。抽出するデータは、以下の通りです。

① 関連情報: Stage、病理所見、画像所見、臨床病理学的因子など
データベースから(2021年1月1日から2022年8月31日)

② 患者基本情報: 性、年齢、罹病期間、身長、体重など

本研究の対象患者のデータを、所定のフォーマット(パスワード付きエクセルファイル)で一括して管理し、データの解析は京都第一赤十字病院消化器外科にて行います。情報は院内にて厳重に管理され、第三者への提供は致しません。本研究の結果は学会発表・医学論文として公表する予定です。

4. 患者様の利益・不利益(リスク)および同意取得

本研究では、通常診療情報の解析のみを行うもので、患者様への利益も不利益も生じません。本研究への参加に関しては、本掲示をもって文書同意に代えますが、同意いただけない場合は、研究データへの組み入れを取り消しますので、下記までご連絡ください。

5. 事務局・患者問い合わせ窓口

〒605-0981 京都市東山区本町15丁目749番地
京都第一赤十字病院 消化器外科
電話 075-561-1121(代表) Fax 075-561-6308
責任研究医師氏名 曾我 耕次(k-soga.bt@jrc.or.jp)